

写真・南川三治郎

世界遺産熊野本宮館
入館無料



熊野古道

カミーノ・デ・サンティアゴ



世界遺産 巡礼の道をゆく

世界遺産熊野本宮館オープニングイベント

熊野古道

Road of Sanctuary Kumano

カミーノ・デ・サンティアゴ

Camino de Santiago de Compostela

平成21年 7月3日(金) ▶ 8月3日(月)

8月4日(火) ▶ 8月31日(月)

世界遺産熊野本宮館 開館時間：AM9:00～PM5:00

田辺市本宮町本宮100-1 Tel：0735-42-0751 URL：<http://www.city.tanabe.lg.jp/hongukan/index.html>

主催：世界遺産熊野本宮館オープニングイベント実行委員会 協力：財団法人岡田文化財団、財団法人NHKサービスセンター

協賛：富士フィルム株式会社、株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン 後援：NPO法人紀州熊野応援団、NPO法人日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会

熊野古道

Road of Sanctuary Kumano

7月3日(金) ▶ 8月3日(月)



カミーノ・デ・サンティアゴ

Camino de Santiago de Compostela

8月4日(火) ▶ 8月31日(月)



世界遺産熊野本宮館オー・フリング・イベント

世界遺産熊野本宮館オー・フリング・イベント

2004年7月7日ユネスコ世界遺産として指定された「紀伊山地の霊場と参詣道」は5周年を迎えました。

日本の“^{サンクチュアリー}聖域”吉野、熊野三山、高野山の霊場と参詣道は古代より日本の“^{パワー}気”が色濃く残る聖地です。霊場をつなぐ古道は、自然と信仰が紡ぐ「生命の道」。古来、天皇から庶民に至るまで、日本人にとって憧憬の聖地でもあります。

いっぽう海の彼方スペイン・ガリシア地方のサンティアゴ・デ・コンポステラには1985年に世界遺産にも登録された巡礼の道「カミーノ・デ・コンポステラ」があります。

巡礼路を歩けば、今も中世さながらの風景が広がり、途上の村や町の教会には珠玉のロマネスク美術がひっそりと残されています。

そしてこんな時代だからでしょうか、混沌とした世相にあつて人々が癒しと安らぎを求めるとき、「紀伊山地の霊場と参詣道」は世界で一つしかない「道」の世界遺産の一つとして世界の人々から注目を浴びています。

私は「同じ年代に五万kmも離れたヨーロッパと日本で似たような文化(巡礼と参詣)が興ったという不思議。日本とヨーロッパの文化の比較を含め、それを私の写真で語る事ができれば…」との想いを込め、一つの道を歩きました。長期にわたる取材を通して、文化は互いに違うものの共通して感じるころはありました。

それは、その地で暮らす人々の温かい心の奥深さでした。

世界遺産指定5周年にあたり、本写真展が少しでも多くの人々の目に触れ、日・西交流、相互理解のお役に立てることができればこのうえない喜びです。

みなみかわさんじろう

1945年三重県生まれ。東京写真大学(現・東京工芸大学)卒業後、大宅壮一東京マスコミ塾第1期出塾。以後パリを拠点に活動し、フォトグラフィックライターとして、内外のグラフ紙に寄稿。現在もパリと東京を歩きながら活動する。

1980年日本写真協会新人賞。1986年日本写真協会年度賞。1993年オーストリア政府観光局から名誉勲章ゴールド受賞。代表作に『アトリエの巨匠100人』『イコンの道』『ヴェルサイユ宮殿』『世界遺産巡礼の道を行く』などがある。

URL:<http://www.s-minamikawa.com>

写真・南川三治郎